

違う言葉でも
通じ合えるように

10 人や国の不平等
をなくそう



香川県立善通寺第一高等学校

2021. 4月～2022. 2月 胡菜摘 芦辺真桜 近藤水海

目的：互いの言葉を知り気持ちが分かるようになること。

💡 今回の課題

- ・ 年齢差のある職場
 - ・ 面接などの場
 - ・ 家族間でのやり取り 等
- 日本内でも言葉の誤解は多い

➡ まずは私たちの身近にある
方言や若者言葉に
目を向ける

💡 方法

1. 香川県の方言や若者言葉に関するアンケートを実施

➡ 方言や若者言葉についての
意見や経験

言葉のパンフレット作成を

どう思うか？等

2. ALTの先生にインタビュー

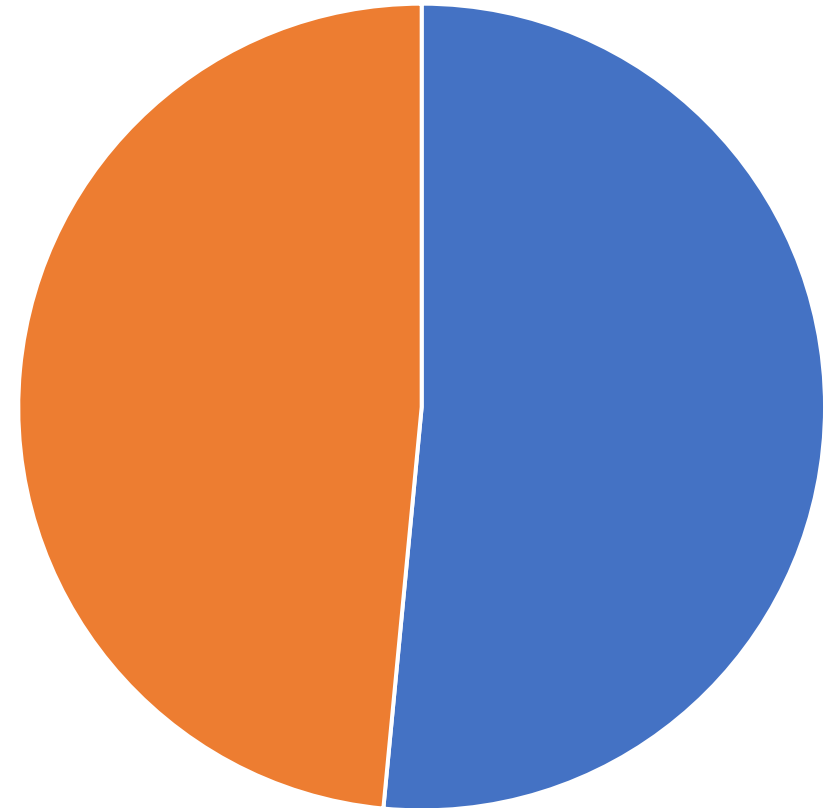
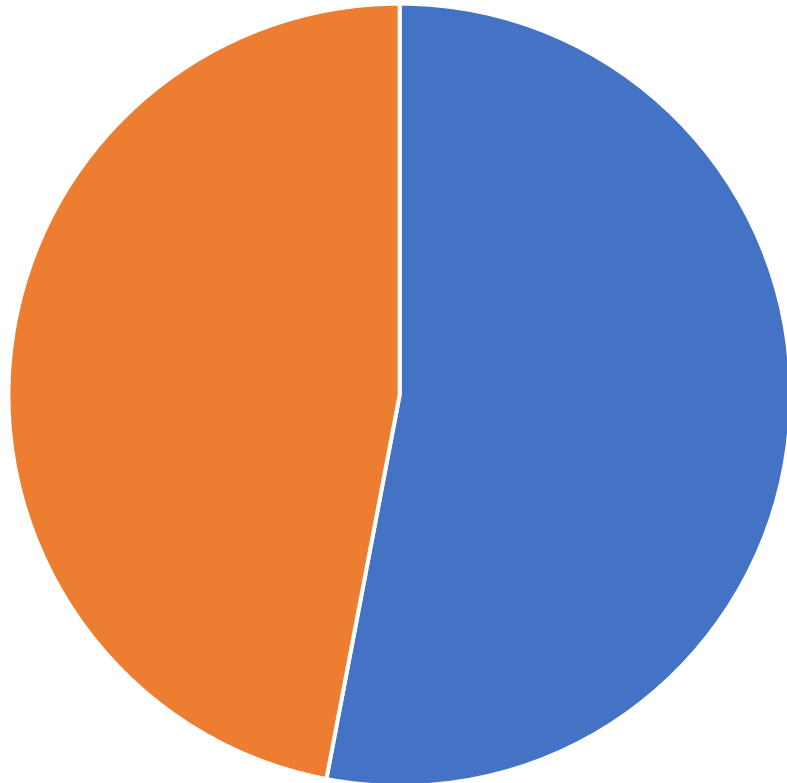
➡ 分かりにくい日本語は

何ですか？

Q 会話中に「言葉が伝わらない」 「誤解された」という経験はありますか？

会話中に「言葉が伝わらない」
「誤解された」という経験はありますか？

誤解された経験はありますか？



■ ある ■ ない

💡 結果

- **半数**ほどの人が方言や若者言葉で**会話に支障が出たことがある**と回答。
 - 「**年齢差**があると言っていることが分からない」
「子供の言っている言葉が分からない」 など
- ＜一方でこんな意見も・・・＞
- ➔ 「方言は**大事な文化**なので残すべきだ」
「若者言葉も**時代の流れ**だろう」

💡 パンフレットの意味

方言や若者言葉を知るためのものではなくこのような言葉に興味を持つ**きっかけ**を作るものになること

➔ 代表的な方言、若者言葉を入れるだけでなく**クイズ**を入れることで楽しめるように！